

第4回定例会は12月5日(月)から

次回の第4回定例会は12月5日(月)午前10時より開催される予定です。是非、議場にお越しいただき、市議会を身近に感じていただければ幸いです。

傍聴の際、手話通訳を希望される方は、傍聴を希望する2日前までにお申し込みを。車いす用の席もございます。

【府中市議会インターネット中継】

<http://www.fuchu-city.stream.jfit.co.jp>

本会議や一般質問などを生中継でご覧いただけます。スマートフォンやタブレットではご利用いただけません。

【第4回定例会(予定)】

12月5日(月)	本会議(委員会付託)
6日(火)	本会議(一般質問)
7日(水)	本会議(一般質問)
12日(月)	厚生常任委員会
14日(水)	基地等跡地対策特別委員会
20日(火)	本会議(委員会審査報告等)

※上記は2016年10月1日現在の予定です。実際の日程が変動する場合がございます。

【府中市議会の問合せ先】

☎042-335-4507(議事係)

市政報告活動@分倍河原駅前 毎週月曜朝



市議会「府中リベラル」は、祝日を除く毎週月曜日の朝7:00~8:30まで、分倍河原駅前にて、代表の稲津けんごが市政報告を行っています。同時に、市政に関する市民相談も受けております。

防犯、交通、道路、教育、生活、労働、子育て、介護、障がい者福祉、人権、まちづくり、法律など様々なご相談にも取り組みます。お気軽にお声をかけてください。



稲津けんご

【プロフィール】

1968年北山町生まれ。
(現在は西原町在住)

府中七小、和光中、都立狛江高校卒業
1992 米国南アラバマ大学学士号取得
1998 米国ピッツバーグ大学院修士号取得
1999 府中市議会議員初当選(3期12年)
2015 府中市議会議員 再当選
現在、市議会「府中リベラル」の代表。
所属委員会は、厚生常任委員会、
基地等跡地対策特別委員会。

【編集後記】

最近、議員の政務活動費の不正請求が報じられ、「バシなればいい」という意識が横行しています。議員は国政、都政、市政を問わず、民間企業以上の高い倫理が求められます。現在、府中市議会は年間54万円の政務活動費が各会派に交付されていますが、余れば返金するのが当然です。

何のために議員をやっているのか。そのために何をすべきなのか。政務活動は議員活動の一部であり、誰が見ても分かる透明性の高い情報開示に取り組みます。

府中リベラル 市政レポート

府中市議会議員

編集・発行: 府中市議会 府中リベラル

稲津 けんご

〒183-8703 東京都府中市宮西町 2-2-4

Mail: inazu.kengo@gmail.com



～誰も見捨てない地域社会に～

平成28年9月2日～9月30日開催

第3回定例会 徹底総括!! 2016年10月号

第3回定例会 補正予算および決算審議

9月2日(金)から9月30日(金)の会期中、平成28年第3回定例会が開催されました。本会では、平成27年度の決算も集中的に審議されました。

9月5日(月)と6日(火)に行われた一般質問で私 稲津けんごは、①災害時の指定避難所における民間事業者との連携、②障がい者福祉の充実の2点について質問し、誰も見捨てない地域社会に取り組みました。

※ 一般質問の詳しい内容と、全体の傾向については、中面をご覧ください。



【第3回定例会 主な活動】

9月2日(金)	本会議(議案の委員会付託等)
5日(月)・6日(火)	本会議(一般質問)
	・稲津氏は5日(月)に登壇
9日(金)	厚生常任委員会
13日(火)	基地等跡地対策特別委員会
20日(火)	本会議(委員会審査報告等)
21日(水)	予算特別委員会
23日(金)~28日(水)	決算特別委員会
30日(金)	本会議(決算審査報告等)

※ 稲津氏が所属していない委員会には全てオブザーバー(傍聴人)として参加。

タウンミーティング 各地で順次開催

第3回定例会が終了したことを受けて、地元ある西原町や北山町、武蔵台にて市政報告会「稲津けんごタウンミーティング」を開催いたします。

市議会や府中リベラルでの活動報告と同時に、各地域で抱えている問題に関する広聴会を行う予定です。平日昼間で大変恐縮ですが、是非ご来場ください。会場周辺以外にお住まいの方の参加も歓迎します。

※ 市内でのタウンミーティング開催リクエストは、右記お問合せ先にて承ります。

【タウンミーティングのご案内】

10月24日(月)	都営府中武蔵台 2丁目集会所
10月26日(水)	西原町自治会館
10月27日(木)	北山自治会館
いずれも14時開始(開場は13時半) 入場無料、事前申込も不要です。	

【タウンミーティングの問合せ先】

☎ 042-806-9777 (稲津けんご事務所)
または、本面上部のEメールアドレスにて

一般質問① 災害時の避難所に民間との連携を

毎年9月は防災月間です。市内各地域の実情に即した避難所であるかを問う内容の一般質問を行いました。

私が住む西原町は、1・2丁目が府中七中、3・4丁目は府中十中が避難所の目安となっており、町内が二つに分かれています。西原町は自治会が一つにまとまっていますが、災害時の避難所が二つに分かれてしまうのは、地域住民にとって、避難生活を送る上で非常に不安です。

自分が住む町に避難所がない場合の解決可能な対策を提案しました。例えば、町内にある程度の広場と施設を有する民間事業者と協定を結び、地元住民の避難所として設定する事です。

担当部長は、「民間事業者との協定は、避難所としての様々な設備面などで、ハードルが高く大変難しい」との答弁があり、私は「それでは全く議論にならない。災害時の地域住民の動きや人の流れ等を考慮しながら、避難所を

検討すべきである。設備面など十分な安全を確保することは次の話であり、まずは地域住民からの声を受け止めて、民間事業者との話し合いや交渉をする姿勢を示すべきである」と訴えました。

勿論、その為に私も一緒になって汗をかく所存です。

今後、事業者との協定が実現すれば、他地域でも広げられます。



一般質問② 障がい者福祉の充実を求めて

今年の7月26日に発生した「相模原障がい者施設殺傷事件」は記憶に新しい事ですが、私達はこのような事件を再び繰り返すことの無いよう、地域でしっかりと支え合う社会を創らなければなりません。同時に、この事件によって精神障がいへの偏見が広まることのないよう、十分に配慮していかねばなりません。

一方、障がい者福祉に携わる事業所や作業所などの現場が抱える問題や課題は常にあります。これまでの傾向として府中市は障がい者福祉に対する財政的支援が、年々減少してきています。同時に、助成金や補助金などの基準が毎年変わり、厳しくなっているとの声があります。実際に調べたところ、市内の社会福祉法人

では、府中市からの補助金が減少してきており、福祉に携わる職員の人件費も抑えざるを得ない状況になっています。

一般質問では、障がい者福祉に対する市の姿勢について問いただし、高野市長から「障がい福祉サービスの安定的な供給に必要な基盤を整備する」との答弁がありました。

「そうした認識を持っているならば、事業運営が持続可能となるよう、財政的支援をしていくべきである。29年度予算にしっかりと反映させ、具体的な数字を示すよう強く要望する」と主張しました。



イエローリボン：障害のある人びとの社会参加の推進運動のシンボルマークとして活用している

議案審議 憲法改正に向けた危ない論議に反対

定例会最終日の9月30日に議員提出議案があり、「憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書」が提案されました。

私はこの提案の趣旨と狙いについて提出者である村木茂議員に問いましたが、「日本国憲法は占領軍によって作られた」「中国、韓国、ソビエト(?)などとの領土問題があるため、憲法を議論する必要がある」との答弁でした。

しかし今の憲法は1946年10月7日きちんと国会で認め、さらに見直す時期を有したにもかかわらず、当時の政府は1949年4月28日「憲法改正の意思もっていない」と答弁して改正手続きを行いませんでした。

また、領土問題は憲法と全く接点がありません。自衛の問題は自衛隊法で対応できます。いったい憲法のどこが問題なのかも答えられないような質疑応答でした。

当然ながら、私はこうした意見書の提出には強く反対しましたが、自民と公明の賛成多数により、可決されてしまいました。今の憲法改正の動きは、国民の自由を政府から護る憲法から国民の自由を縛る趣旨であり、立憲主義に反した流れで非常に危険な論議です。



補正予算 積立基金の目標額を超えた予算の有効活用を

平成28年度補正予算の特徴は、前年度の一般会計決算繰越金14億8500万円が確定し、他の歳入と合わせて20億8761万1千円(当初比2.1%増)の使いみちが焦点でした。

同時に今回の補正予算で、府中駅南口再開発事業の地下駐車場購入に対して6億3千万円の債務負担行為を行う内容となりました。

補正予算は本来、緊急性の高い事業への対応や当初予算編成後の状況変化に応じた事業に組み入れます。よって余った予算は基金に支出する事は珍しくありません。

しかしながら私は、今回の補正予算で8億円を公共施設整備基金組み入れることに関連して、積立金全体像の状況と今後の有効活用について、行政に尋ねました。

「府中市基金計画で目標額は343億円であるが、現在の基金積立額は571億円と当初より228億円多くなっている。新たな市民ニーズに対応したサービスを行うためにも現在の基金計画を見直すことも必要と思う」との答弁がありました。私は、「目標額より多くあること自体は悪いとは言わないが、それぞれ目的がある基金なので、目標を達成した基金以外の予算は必要な福祉などに有効に活用して頂きたい」と述べ、要望しました。



決算審議 犯罪被がい者支援の更なる充実を

府中市統計書によると、市内刑法犯認知件数は全体的に減少傾向となっていますが、脅迫や暴行を含む粗暴犯の件数が平成25年度比で58%上昇し103件となっています。犯罪の凶暴化が特徴となっており、今後の防犯対策は勿論のこと、同時に犯罪被がい者に対する支援を忘れてはなりません。

私は、決算委員会において、府中市として取り組んできた「犯罪被がい者対策」について、平成27年度はどのように取り組んできたか質問しました。

答弁では、被害者支援都民センターが行なった研修に職員が参加し、被がい者への対応に取り組んだとの事。市が行っている職員研修自体は必要であり、今後も継続して支援の更なる充実に取り組むよう要望しました。

国では平成16年に「犯罪被害者等基本法」を制定し、基礎自治体にも犯罪被害者等のための施策を総合的かつ

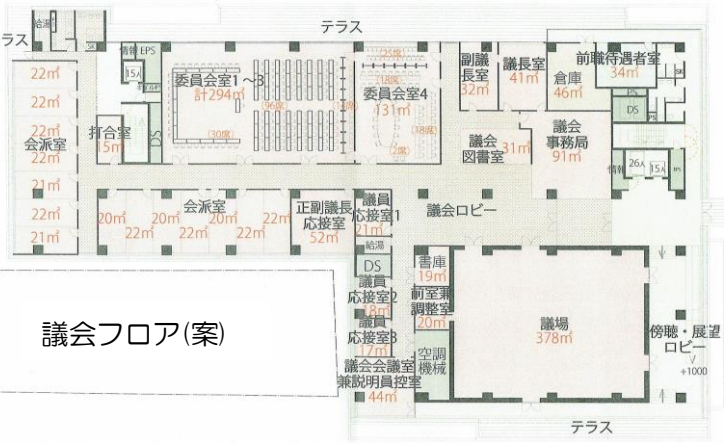
計画的に推進することを記しています。基本法制定から10年以上が経過していますが府中市では「被害者等支援条例」が未だに制定されておらず、具体的な動きが見られないのは非常に残念です。

11月25日から12月1日は「犯罪被害者週間」と定められ、期間中の集中的な啓発事業等の実施を通じて、犯罪被害者等が置かれている状況や犯罪被害者等の名誉又は生活の平穏への配慮の重要性等について、国民の理解を深めることを目的としています。この記事をご覧頂いている皆様にご承知いただき、もし被害にあったり、友人知人で被害にあわれたりした方がいましたら、下記の窓口にご相談下さい。

「被害者支援都民センター」
東京都新宿区戸山3-18-1 元気館2階
☎03-5287-3336

議案審議 市庁舎建設 議会フロアと本会議場のレイアウトを検討

現在、市議会では平成34年完成予定の市庁舎の建て替え計画に関して、議会棟検討委員会で議会のフロアや本会議場の設計について、市担当者から説明がありました。



議会は市民と行政をつなぐ重要な機能を持っています。議会と市民の距離を縮め、親しみやすい市議会となるよう全力で取り組みます。皆様のお声をお聞かせ下さい。

